



## 第19回 江戸川区長期計画審議会 議事録

日時:平成14年3月15日(金)午後1時30分～午後3時00分

会場:江戸川区総合区民ホール「蓬萊」

### < 議事内容 >

#### 【松下会長】

それでは、ただいまから第19回江戸川区長期計画審議会を開会いたします。

本日の欠席でございますけれども、小暮委員、白木委員、棚橋委員、平田委員から欠席の届けが出ております。

それでは、今回の審議会は、これまでの審議を踏まえて、事務局がまとめました審議会としての答申案全体について審議することといたします。

それでは、既にお送りしてあります長期計画に関する答申案について、事務局の説明を得まして、その後で委員の皆様のご論議をいただくということで進めてまいりたいと思いますので、ひとつよろしくお願いいたします。

それでは、事務局のほう、よろしくお願いいたします。

#### 【白井副主幹】

それでは、皆様のお手元でございます、事前に配付させていただきました江戸川区長期計画答申(案)につきまして説明させていただきたいと思います。座ったままさせていただきます。よろしくお願いいたします。

まず、構成でございますが、この答申ということで、本の形になりますが、表紙をつけたいと思っております。これは答申案なので(案)という形になっております。

1枚あけていただきますと、答申文ということで、この審議会の会長、松下会長の名前で多田区長にということでございます。

もう一枚あけていただきますと、会長、副会長、それから五十音順で委員の皆様のお名前を挙げさせていただきます。

もう一枚あけていただきますと、目次ということで、長期計画でございますので、基本構想、それから、その裏側に基本計画の目次を入れさせていただきます。

ずっと基本構想及び基本計画というもので書かせていただいております、付属資料といたしまして、人口推計、それから策定経過ということと用語説明を入れさせていただき、最後に、今までここで審議会を18回にわたっていただきました意見・提案の主なもの、要旨を最後のところに5枚にわたってつけさせていただきます。

これは質問等につきましては載せておりません。あくまでも意見・提案の要旨を載せさせていただきます。

それでは、今までいただいたもので、この答申で反映させていただいているものについて説明させて

いただきます。

皆さんもお読みになっていると思いますが、下線を引いたところがそうでございますので、まず11ページをお願いいたします。

11ページの真ん中あたりでございます。第1節、未来を担う人づくりの6行目でございますが、「能力や個性を伸ばし」というふうに書いてございます。これはご意見といたしましては、ここでは明るく元気な子だけがよいというふうに取れるということで、人それぞれ子どもたちが個性を持ったり能力があるということを伸ばしていくことが必要ではないかというご意見をもとに、このような文章を入れさせていただきました。

続きまして12ページをお願いいたします。その裏側になりますが、真ん中より下段に、(2)の下の地域の人々とふれあえる環境づくりの最後の2行でございます。「子どもたちが夢や好奇心をはぐくめるように、多様な体験の機会」がここでは児童館等を通じて必要だというお話をいただきましたので、それをこの最後の行に入れさせていただきました。

次の13ページでございますが、1行目でございます。かかりつけ医という言葉を入れさせていただきましたが、子どもが病気の際に安心できるには、ここでは医師会、行政、地域などがと書いてあったんですが、まずかかりつけ医を持つことが大切でしょうというご意見をいただきまして、「かかりつけ医や」ということでここに付属させていただいております。

それから、そのページの3.多様な保育サービスの提供、人間性の基礎を培う家庭的保育の推進の3行目でございますが、保育ママ制度の充実・拡大となっておりますが、保育ママ制度はゼロ歳児だけを持って充実するというので、拡大というのを取らせていただきたいと思います。

それから、14ページをお願いいたします。

真ん中でございますが、自立心をはぐくむ特色ある学校づくりの3行目に、「さらに基礎的な体力づくりを進めます」と書いてございますが、これは審議会の中で子どもたちの体力が落ちているという意見をいただきました。何より体力づくりというのが必要じゃないかということで、これを加えさせていただきました。

さらに、「加えて、優れた文化・芸術とふれあう機会を充実します」と書かせていただいておりますが、これは子どものときから優れた文化・芸術とふれあう機会が本物に触れるというお言葉もいただきましたが、機会が大切であるということでこれを入れさせていただいております。

その4行下でございますが、新しい時代に合った小中学校の配置や通学区域ということで、「小中学校の配置や」というのを付加させていただきました。これは地域によりまして、さまざまなことが考えられるというようなご意見をいただきまして、計画のほうでは既に小中学校の適正規模や適正配置というのが書かれていたのですが、構想にはそれが載っておりませんでしたので、ここでこの言葉を入れさせていただいているところでございます。

その右側のページでございますが、8行目にスポーツクラブというのをより幅広くスポーツクラブも含めまして、さまざまな環境づくりというようなことで、「スポーツをする機会や」という幅広い言葉にさせていただいたところでございます。

その2行下でございますが、ここでは学校の役割を広げ、地域のあらゆる人々が学ぶ学びの場となっていたんですが、熟年者、高齢者などが集い、交流する場として学校なども活用できるというようなお話もいただきましたし、さまざまな人が学校へ集える、交流できるということで、ここでは幅広く「交流の」という言葉を入れさせていただいているところでございます。

17ページをお願いいたします。ボランティア立区の推進の後ろから5行目でございますが、さらにボランティア活動を支えるNPOなどとなっていたのですが、ここでは市民活動団体というものも構想の中で

前向きに出してもらいたいというご意見をいただきましたので、ここで「市民活動団体やNPOなど」というふうに書かせていただいているところでございます。

その下の2行でございますが、素案ではエコマネーというものにつきまして、環境のところでは触れておりましたが、ボランティアでは、素案では触れておりませんでしたので、皆様からのご意見でボランティアにも非常に有効なものであろうということですので、ここでこの2行を入れさせていただいたところでございます。

18ページをお願いいたします。江戸川文化の創造というのが真ん中辺にございますが、3行目といたしまして、さまざまなことを行って、「区民とともに優れた文化・芸術を創造していきます」というのを付加させていただきました。

さらに、先ほど来お話しさせていただいておりますが、身近なところで、「優れた文化・芸術に気軽に親しむこと、そういう機会の充実が必要」というお話をいただきましたので、それを入れさせていただきました。

その江戸川文化の創造といたしましては、ちょっとこれは場所を替えたんですが、すべてを受けまして、「このように江戸川区の特徴と資源を活かして、新たな江戸川文化を創造し、全国に発信していきます。」というような書き方にさせていただきました。

その右ページでございますが、真ん中あたりに世界からの人々が共生する地域社会の構築ということで、今までは対話の機会を整えと書いてあったんですが、ここでもやはり既に交流なども行われているということもあるものでございますので、これに「交流」を付加させていただきまして、そうしますと、整えというより、もう既に行っておりますので、「対話や交流の機会を充実するとともに」という書き方にさせていただきました。

20ページでございます。20ページは、京極先生から、また西垣先生のほうからのお話で、まず第3節の題名でございますが、健康福祉づくりというのはあまり言葉がなじまないのので、「健康・福祉の社会づくり」というふうにさせていただきました。

1)が、健康と書いてあったんですが、「区民の健康づくりのために」ということで、中身に沿った形にさせていただきます。

また、真ん中あたりで、区民主役の生活習慣病対策ではなくて、「区民の命と健康を守る仕組みづくり」と幅広く書かせていただきました。

それから、2行目でございますが、健康管理を促すということにつきましては、情報技術を活用しての情報提供もそうだけれども、「健康教育」が必要ではないか。これは審議会の委員の皆さんからご意見をいただきまして、それを書かせていただいているところでございます。

最後から2行目の題名もこういうことに変えさせていただきました。

その右側でございますが、21ページでございますが、3行目に思わず運動したくなるような仕組みと書いてございましたが、ここではご意見といたしまして、もっと幅広くハード的な環境整備というものも考えられるだろうというようなご意見をいただきましたので、ソフト、ハード両方合わせまして、仕組みを「環境」という言葉に変えさせていただいております。

それから、3番といたしまして、生涯スポーツの推進の2行目でございますが、それぞれの体力や興味に応じてスポーツを続けるとなっていたんですが、もっと気楽に一般的な軽い運動もというお話でしたので、「体を動かしたり」というのを入れさせていただきました。

その中の健康スポーツ都市・江戸川ということで、これはキャッチコピーになるように私どものほうで「江戸川」というのをつけさせていただきました。

それから、2行目といたしまして、スポーツを楽しんだりする仕組みというもの、これも先ほど来いろい

ろな施設などのことも要素としては考えられるのではないかなというように含めまして、「環境」という言葉にさせていただいております。

それから、この21ページの後ろから2行目に、医療機関、感染症ということで医療機関への情報提供というのが、区民と同時に大切だということでございましたので、「医療機関」というのを書かせていただきました。

次のページでございますが、22ページといたしまして、食と住の安全性ということで、これは食生活の多様化に伴いまして、健康食住の推進の1行目に、この情報提供というのは「食品と健康のかかわりなどについて学ぶ機会」というのが必要でないかというご意見をいただきました。で、そのまま書かせていただいております。

それから、23ページにつきましては、題名をこの福祉というのは、子どものことも入りますが、今回は子どものことは前段でお話しさせていただいておりますので、「高齢の人々・障害のある人々のために」という題名に変えさせていただきました。

27ページをお願いいたします。

環境でございますが、27ページの真ん中あたりに、ここでは受益者負担の話をしてあったんですが、まあ、受益者負担は慎重にというお話もございました。ただ、ごみを出さないということに対しては非常に大切だというお話もいろいろあったところでございますが、ここで、「出すごみの量が少ない人ほどメリットのあるような方法」ということで、それらを加味したような形で検討するということで、書かせていただきたいというふうに思っております。

28ページをお願いいたします。

4. の生活環境の改善と保全と2行目でございますが、ここでは自動車利用に伴う環境負荷を軽減するために、自動車や環境に負荷の少ない車と書いていたんですが、より明確にするために、ご意見をいただきましたが、「公共交通、徒歩」というのもここで入れさせていただいたところでございます。

29ページの上から2行目でございますが、エコマネーの導入などの地域通貨の導入と、あと、さまざまな江戸川区として運動を起こしていくことが必要ではないかというご議論もいただいたところでございまして、「花や緑を増やす運動」、これは後でまた出てまいります、などを江戸川区らしい、独自といいますと、実は地域通貨、エコマネーなども始めているところもございますので、独自というよりも「江戸川区らしい取り組み」というほうがふさわしいのではないかなということで変えさせていただいております。

31ページをお願いいたします。

産業でございますが、下から7行目で駐車対策でしたが、駐輪対策というのは商店街では必要だというお話をいただきまして、「駐車・駐輪対策」というふうに付け加えさせていただいております。

32ページでございますが、4. 農水産業の継承ということでしたが、ここでは伝統的地場産業、伝統工芸品などが非常に大切だということで、柱立てを別に5. としてつけさせていただいております。

ということで、4. は、水産業も金魚なども5. に行きましたので、ここでは「都市農業の継承」ということで、それを変えただけでございます。

5. といたしまして、「伝統的地場産業の継承、発展」ということで、伝統工芸品、それから金魚、花火などのことをここで新たに柱立てをさせていただいております。

36ページをお願いいたします。ここでは、まちづくりでございます。木造密集市街地の改善の4行目でございます。特に市街地の総合的改善を図る必要がある駅周辺地区を、かつては小岩駅周辺地区などにおいてはと書いてあったんですが、例えば、平井駅や京成小岩なども考えられますので、特別な地名はやめまして、「市街地の総合的改善を図る必要がある駅周辺地区などにおいては」という書き方にさせていただきました。

40ページでございます。上から2行目、ここは、安全で災害に強いまちづくりということで、1つは、2行目に「区民と区の役割を明確にし」ということ、それから、実際に区でいろいろな情報を持っていても、それが皆さんにはわかっていないことが多いのではないかと、それから、災害時における情報収集とか伝達がうまくいくのだろうかというようなご意見をかなりいただきましたので、それらをあわせまして、防災体制の充実ということで、3行にわたりまして、新たなことを入れさせていただいております。「区民誰もが、避難所や備蓄物質の運営・利用などに関する情報を日頃から認識し」というようなことでございます。災害時における活動が円滑に行われるというようなことが大切だということで、ご意見をいただきましたので、入れてございます。

43ページをお願いします。基本計画の最初になりますが、ここでは、前回でしたが、協働ということなので、区民との協働で区民が自分たちが主役で行うということがわかるようにということでございましたので、それを目途に書き方を足させていただいております。また、題名も考え方を前提に意義と言っていたのを「役割」と変えさせていただきまして、4行目に、「この基本計画は、区民の参加を得て、区民と区が協働することではじめて実現するものです。」で、「この実現のためには」、それぞれのことを書かせていただきましたし、これが「区民が積極的に区政に参加し、区民と区がパートナーシップに基づき、協働しながらまちづくりを進めていくための指針とも」なっていくということを書かせていただいております。

49ページでございます。上から3行目は、先ほど構想でお話しさせていただきました点でございます。それから、家庭教育の充実の6行目でございますが、ここでは、この親というのがどうしても母親のイメージしかとれないというご意見をいただきました。で、ここでは、父親、母親というのをはっきり出させていただきまして、「父親・母親としての自覚と子育てに対する」ということで書かせていただいているところでございます。

それから、2.の地域教育の充実の下から3行目でございますが、ここも、そのような議論を踏まえまして、地域の子が「地域に愛着を持つ」というのをはっきりと打ち出すべきだというご意見もございましたので、それを加えさせていただいております。

50ページでございます。学校教育の推進でございますが、ここでは、学歴偏重社会が続いているのじゃないかと。それを反省しなくてはいけないというご議論と、もうそうはなっていないんじゃないかというご議論がございましたが、何よりまだ、ここに書きましたとおり、「とりまく環境の急激な変化の中で、受験戦争、いじめや不登校などの課題も一部にみられます」というのは確かだと思いますので、これを入れさせていただいております。

57ページをお願いいたします。3健全育成団体の支援、指導者の育成でございまして、ユースワーカーの下から2行目で、ジュニアリーダー、ヤングリーダーでございますが、ここでは、育成を行うというのはわかるけれども、皆さんがこれからの活動、どうなるんですかというお話がございましたので、ここでは「活動の場を広げ」ということを明確に書かせていただきました。

59ページでございます。2でございます。2保育人材の充実の2行目でございますが、ここでは別にお電話でいただきまして、そこでは、保育人材というのが保育士などが女性が多いわけで、どうしても母子家庭的な環境になっているのでというお話をいただきました。これは、男女を問わず多様な保育人材をということで、「男女を問わず」というのを入れさせていただいたところでございます。

60ページ、お願いいたします。10行目でございますが、「さらに、生涯を通じての体力づくり」、これは先ほどのことでございます。それから、「文化・芸術とふれあう機会を充実」、これも先ほどご説明したところでございます。

右の61ページでございますが、ここは、上から4行目でございますが、教員の資質の向上で、これから教育研究所の充実をしていかななくてはならないんじゃないか。今より一層していかななくてはならないん

じゃないかというご意見をいただきましたので、つけ加えました。「教育研究所における教員の研修や教育情報の調査・研究などの機能の充実を図っていきます」とはっきりと書かせていただきました。

63ページをお願いいたします。3地域の人々が集う学校づくりでございますが、ここでは、学校開放を10年ぐらいのスパンで考えて、施設整備が必要だろうというお話など受けまして、「特別教室」の開放というのを加えさせていただきました。それが先ほどの学校が学ぶ場所だけじゃないということで、地域の人にとっても学ぶ場所だけじゃないと。「集い、交流する場」ということで、これを入れさせていただいております。さらに、学校施設の開放にあたっては、安全対策が非常に必要だろうというお話をいただきましたので、これを明確に1行つけ加えさせていただいております。

70ページをお願いいたします。エコマネーの地域通貨の導入でございますが、これが、今まで「導入を検討します」となっておりましたが、皆さん方から、ぜひこれは導入を図っていいんじゃないかと、10年計画でございますので、ご議論をいただいたところでございますので、これは「導入」という題名で、2行目でも、「導入を図ります」とはっきりと書かせていただきました。

それから、次のボランティアの裾野の拡大の3行目では、子供たちのボランティアというより、教師や保護者が実際にはボランティア活動に対して目を向けるべきじゃないかということでしたので、「教師や保護者への情報や機会の提供に努めます」というのを明確にさせていただいております。

72ページ、お願いいたします。4の区民と区のパートナーシップによるコミュニティづくりということで、今まで、審議会に出ている者はわかるんだけど、そうでない区民の皆さんがこれを見たときにわかるでしょうかという意見をいただきまして、もう少し丁寧に、「町会・自治会やボランティア、NPOなどの自主的な活動と互いの連携・協働を支援するなど」というような形を入れさせていただいております。

それから、その右側の73ページのやはり同じところでございますが、文化・芸術に触れる機会の充実ということは、「小中学校においても、優れた文化や芸術とふれあう機会の充実」ということで書かせていただいているところでございます。

75ページをお願いいたします。4.男女共同参画社会の2でございます。その2行目でございますが、男女共同参画社会の意識の形成というのは、子どものときからが何より大切なんだというお話をいただいたところでございまして、「子どもの時からの意識づくりのための」というのははっきりと書かせていただいたところでございます。

77ページをお願いいたします。真ん中に世界からの人々と共生する地域社会の構築とございますが、その2生活上の問題を解決する仲介役の確保ということで、1つは、日常の生活習慣だけだったのですが、「文化」を入れさせていただいたのと、それから、構想で差別の監視強化の話がありましたが、計画では受けておりませんでしたので、ここで最後の2行に、「また、トラブルや不当な差別を招くことのないように、情報提供と相談に努めていきます」という文言を入れさせていただきました。

78ページでございます。ここは、世界平和のためのまちづくりということで、2、3に書いてあることしかなかったわけでございますが、少し計画としての思いが弱いのではないかというご意見をいただきましたので、「41平和意識の啓発」ということで、思いを書いて、さらに、区としては、「各種のイベントなど多様な機会を通じて区民への情報提供」もしていくし、「世界の人々との交流を進め」ていくというのをいれさせていただいているところでございます。

それから、その右側でございます。79ページの6.安心できる消費生活の2でございますが、ここは学習機会の充実ということで、「消費者センターを中心として」というのをいれさせていただきまして、4として「消費者センターの相談窓口の開設時間を延長する」、これは検討するということなのですが、「延長するとともに、情報技術などを活用した」というのをいれさせていただいております。

消費者センターというのがあったのですが、それはここへ全部入ってしまいますので、カットさせていた

できました。

83ページでございます。ここでも、1.生活習慣病と健康の1の最初の括弧の専門的スタッフによる相談・指導・問題解決の2行目に、健康指導や健康教育というのが必要だというお話をいただきましたので、「健康教育」というのを入れさせていただいております。

89ページをお願いいたします。89ページの健康食住の推進でございますが、これも、先ほど構想で出てまいりましたが、3行目に「食品と健康のかかわりなどについての教育を進め」ということで、同様に受けさせていただいております。

90ページでございますが、これは題名を変えただけでございます。構想と同様でございます。

95ページをお願いいたします。下の4でございますが、ここでは、ほのぼの作業所の事業転換の話が入っていたのですが、どうしてほのぼの作業所だけ出すんだというお話をいただきまして、確かに例示として、私ども、ご意見いただいた後に、その後、出す必要もないだろうと思いましたので、これはカットさせていただきたいと思っております。熟年ふれあいセンターの充実ということはもちろん言うわけでございます。

104ページをお願いいたします。これは環境でございますが、最初から3行目に循環型社会形成推進基本法、これが制定されたわけございまして、これを文章化するべきだろうというお話をいただきましたので書かせていただきました。それを受けまして、右側にございますが、「総合的かつ計画的」にこれも展開していくということでございます。

105ページ、右側の4.の2行目でございますが、自動車による排出ガスや騒音などは私たちの健康にも害を及ぼしているんじゃないか、影響を及ぼしているんじゃないかということでしたので、「私たちの暮らしや健康に」ということを入れさせていただいております。

108ページでございます。1.の真ん中に、環境学習の推進というのがございまして、出前講座などを行ったほうがいいんじゃないかというような具体的なお話をいただきました。具体的なので、出前講座というのは書きませんでしたけれども、ここでは、公園やビオトープなどの「身近な施設」だとか、それから、7行下に、「地域や職場などにおける自主的な環境学習」というようなことで、それらをにわけているということでございます。

110ページをお願いいたします。こちらは資源循環でございますが、1の2行目に、ごみ分別をこれからどうするんですかというお話をいただきました。やはり分別の種類は、皆さんの負担に配慮しながら拡大していくということで、それを明確に出させていただきました。

3の真ん中でございますが、努力を促す仕組みの検討では、その2行目に、先ほどと同じく、「出すごみの量が少ない人ほどメリットのあるような方法」の検討。それから、このページの4と右側の111ページの6、これは、前は載っておりませんでした、ごみ収集運搬処理の推進とか、区民の方が行っている資源回収、これらについてのご意見をいただいたところでございますので、私どもといたしまして、それを受けまして、このように付加させていただいているところでございます。

112ページ、次のページをお願いいたします。自然との共生・ふれあいでございますが、みんなでスローガンとして行っていくことが必要じゃないか。何か運動を行っていくことが必要じゃないかという話は多々いただいたところでございまして、もう公害運動というよりは、ここで暮らしの質を高める、「みんなの家に花いっぱい運動」ということで、「花と緑とともに暮らしましょう」をスローガンとして、自分の家とかベランダだとか玄関先を花や緑で飾る「みんなの家に花いっぱい運動」を推奨していこうというふうに、まあ、まちづくりでは既に書かせていただいたんですが、環境のところでも触れさせていただいております。

その次に、里親制度の導入となっておりますが、ここでは、よりはっきりするように、「緑の里親制度」



と書かせていただいております。

その右側、113ページでございますが、河川敷についても少し寂しいというお話もいただいているところでございます。土木部と相談いたしまして、河川敷の並木、「荒川、新中川、江戸川、旧江戸川、旧中川の河川敷などにおいては、高木を植えるなど緑を増やし、河川敷の並木づくりに努め」ということで、していきたいと思っているところでございます。

117ページをお願いいたします。ここでは、頭のところが、先ほどお話ししましたが、ボランティアでも触れましたが、エコマネーなどの地域通貨の導入の検討となっておりますが、これは導入を10年間でするというので、「検討」とらせていただいているところでございます。

122ページをお願いいたします。産業でございますが、自立型中小企業の支援の1マーケティング強化支援の、区民とともに行う製品開発の2行目で、何よりマーケティングの強化支援ということでは、区民の方のニーズをとらえることが必要だろうということで、1行目に「製品開発ニーズ」というのがあるんですが、ここでもう一度「ニーズ」という言葉を使わせていただいております。括弧の3つ目でございますが、マーケティングITの拡大支援ということでは、ホームページの開設などにつきまして、これは行政が支援していくことが必要ではないかというお話をいただきましたので、「ホームページの開設や電子商取引、グループウェアの活用など」の支援ということで、具体的に出させていただきます。

その右側のページの真ん中でございますが、産業情報ネットワークの構築では、Ei-netのデータベースのお話をさせていただきましたが、ここは、周辺区市の企業もあわせて検索できるように、周辺区市と共同して行っていくことが大切だというお話をいただきましたので、この2行目に、Ei-netを拠点に、「他の自治体や民間の情報ネットワーク・サービスを活用した広域的な産業情報ネットワークを構築し」ということで、膨らませていただいております。

128ページをお願いいたします。農業でございます。括弧の4つ目、環境にやさしい農業の促進ということで、「有機農法の推進」と書かせていただいたのですが、なかなか有機農法自体は難しい。また、これは区が推進といいますか、進めるということでもないのので、ここでは、「環境にやさしい農業を促進していく」というふうに変えさせていただきました。

また、「堆肥のリサイクルシステムの確立」と書いていたのですが、これもなかなか難しい面もあるというお話をいただいたところでございまして、これにつきましても、「研究していく」というふうに、ここはトーンダウンさせていただいているところでございます。

その右側の伝統的地場産業の継承、発展の学習・体験機会の拡充では、技術の伝承や後継者の確保、育成が大切だというお話をいただきましたので、3行目から、「また、本区の伝統工芸の技術を次代に継承していくため、最新の映像技術などを活用し、既存の伝統技術を記録、保存していくことで、技術の伝承や後継者の確保、育成に役立てていきます」というのをはっきりと書かせていただきました。

次のページ、130ページをお願いいたします。一番下の3でございますが、ここでは起業家の育成支援といたしまして、「区の施設を活用し、起業家のための情報収集、交流の場としての機能を有する」、他都市ではあるようでございますが、「ビジネス支援図書館などの設置の検討」ということで、ご意見を踏まえて、書かせていただいております。

133ページをお願いいたします。それも、一番下から2行でございますが、ワークシェアリングや短時間労働などが、リストラといいましょうか、そういうことではなく、「生き生きとした生活、働く意欲にあふれた事業環境、就業環境の実現」につながるんだというご意見をいただいたところでございます。それを付加させていただきます。

135ページをお願いいたします。まちづくりでございますが、1.といたしまして、都市基盤の充実・質の向上の2行目でございますが、江戸川区まちづくり基本プランがどういう位置づけにあるんだというこ



とは、基本構想のときも、基本計画の審議のときもいただいたところでございますので、「長期計画のまちづくり分野を担う」ということではっきりとさせていただきました。

141ページでございます。右側の区民発意のまちづくりの推進の2でございます。ここではまちづくり基本条例(仮称)の検討と書いてございましたが、内容がどういうものですかというご質問もいただいたところでございますが、これにつきましては、まだ区のほうとしてもはっきりしておりませんし、内容的なものも出してもわからないところでございますので、ここでは、「自主的なまちづくりをより促進するためのしくみづくり」という書き方に、変えさせていただいたところでございます。

それから、146ページをお願いいたします。3行目でございますが、葛西臨海公園駅周辺はということですが、この臨海公園、臨海のところが、東京の再生の視点からも非常に重要じゃないかということで、そのあたりのニュアンスを書き込めないかというご意見をいただきました。「東京湾の臨海エリアの魅力を高められるよう」ということを足して、そここのところがわかるようにしたつもりでございます。

それから、150ページをお願いいたします。真ん中に、楽しく快適に移動できる交通というのがございまして、1の下から3行目でございますが、今もいろいろ行っているわけでございますが、住民運動ということでは、はっきりと「迷惑駐輪のないまちづくり運動(仮称)を推進する」ということで書かせていただきましたし、それから、その最後のときに、「公共レンタルサイクルなどの自転車の共同利用」、これは公共だけでなくマンションなど、また民間などでも、自転車を使い合うという仕組みもあるようでございますので、このようなことの有効性の検討ということで幅広くさせていただいております。

154ページをお願いいたします。これは、7行目に、土地区画整理が終わった後に緑が少なくなるというお話もあるところでございまして、ここでは、「土地区画整理などのまちづくり事業や建替えなどで移植が必要となった樹木の仮移植地を確保し、長年育て愛着のある樹木を引き続き育てていけるような取り組みを進め」ていきたいということを書かせていただいております。

3の下からの2行目のところでは、臨海部では、先ほどの「東京湾の臨海エリアとしての魅力を高める」というのをここでも触れさせていただいております。

最後に、163ページをお願いできますでしょうか。163ページの下から3行目でございますが、広域的な連携・協力ということでは、防犯、こういことが区だけでなく広域的な連携ということで大切なんだというご意見、ご提案をいただいたところでございまして、そういうことを受けまして、ここでは、「防犯対策」ということを付加させていただいているところでございます。

全部で百二十数カ所、数え方によりますが、皆さんからご意見やご提案をいただきまして、言葉を多くは足させていただき、あと、書き直させていただいたということでございます。それから、皆さんからいただきました意見・提案につきましては、185ページから、もう読んでいただいていると思いますけれども、その他、こういうご意見がございました。ここに入っているものもございまして、そのようなことで、網羅したつもりでございます。

以上でございます。

## 【松下会長】

それでは、ただいまのご説明につきまして、ご論議いただきたいと思います。

はい、副主幹。

## 【白井副主幹】

すみません。皆様の机の上に財政フレームを、先日委員さんから歳入と歳出の資料がございましたので、それを机の上に置かせていただいておりますので、よろしくお願いいたします。

### 【松下会長】

ご意見がございましたら、よろしくお願いいたします。

ちょっと私が言うのもあれですけど、19ページの世界からの人々との対話や交流の機会を「整え」とって「充実するとともに」となっているけど、これは、「機会を」という場合だと、「充実させる」のがいいだろうし、「機会が」だったら「充実する」というのもいいかもしれないけど、どうですか、文章的に。充実の場合だと、「機会を」の場合だったら「機会を充実させる」のほうがいいんじゃないの。どうなんですか、言葉は。

### 【白井副主幹】

ちょっと皆さんでご議論いただきたいんですが、私どもは機会を充実と言ってしまうので、おかしくないと思って直したんですが。

### 【松下会長】

それともう一つ、154ページの、こういう言葉は、「仮移植地」というのはあるの？

### 【白井副主幹】

移植地、ないですね。それで、これはそういう場所をこれからつくります。ですから、自分の家に木を植えて戻したいという人のための仮移植地をつくります。そういうことでございます。

### 【松下会長】

何かございますか。

はい、藤居委員。

### 【藤居委員】

とてもちゃんとまとめてくださってありがとうございました。

ちょっと気がついたことだけ改めて質問させていただきたいんですけども、まず、14ページの小・中学校のパイロット校づくりを進めますということで、基本構想のほうはこういった表現で、計画のほうを見ますと、61ページになるんですが、ここは検討というふうになっているので、10年間のうちに、検討だけなのかなと思ったので、そこを改めて聞かせていただきたいと思います。

それから、先ほど説明でおっしゃいました141ページのまちづくり基本条例を、内容がはっきりしないものなので、こういった具体的な名称をやめて、しくみづくりということに変えたとおっしゃったので、内容については、このような区の姿勢を示していくための条例づくりを検討するかもしれないけれども、こういった名称をここであえて削ったのかどうかをもう一度確認したいんです。実はこういった条例のようなものがあつたほうが非常に区民にとってはわかりやすいものではないかと思いましたが、そこについてもう一度確認させてください。

それから、あともう一つ、最後なのですが、新しく増えました61ページの教師の資質の向上のところの一番最後に、教育研究所の部分が増えました。それで、ここは非常に、今、さまざまな学校などでの課題がある中で、教師の資質の向上に向けた研修、研究などを図っていくということと同時に、スクールカウンセラーというのは、教師の指導上のアドバイスはするけれども、実際、教師の悩みに答えるという機関、機能ではないですね。それで、そういった教師の非常に個人的な内面についてのサポートをする

ようなものがやはり必要なのかなと思って、教育研究所は、ただ、こういう調査研究だけにとどまらず、そうした教師のサポートをするという場所にもなったほうがいいのではないかということで、そこは改めて提案ということなんですけれども、以上、3点について伺います。

#### 【松下会長】

はい、副主幹。

#### 【白井副主幹】

まず構想は20年のことで、これは、はっきりとパイロット校づくりと言えるんですけれども、じゃあ、10年間でそこまではっきりと明言できるかということで、できればできるにこしたことはないと思います。何をもってパイロット校と呼ぶかという、非常に教育は動きが速いですから、区としても、そういうようなことはあるかとも思うんですが、ただ、この計画の今の段階では、はっきりと断言しちゃって、ちょっと怖いところがありますので、計画では検討とさせていただいたところなので、そういう理解で、できればやるということでございますので、そう理解していただければと思います。

それから、まちづくり基本条例については、実はこれはペンディングになっておりまして、こういう考え方はあるんです。ただ、中身がはっきりしませんが、こういう計画に出せないだろうというような、ちょっとその前に、じゃあ、どうして出ていたんだという議論になってしまうのですが、もう一度、考えますと、やはり中身を詰めてからですね。もし詰めてあれば書けると思うんですけれども、詰めていないものをここで出すのが妥当ではないだろうと思いましたので、今回は削らせていただいた。その仕組みの中には、そういうものも当然、今、考え的には、部のほうではつくりたいという考えもあるようでございますので、考えの中には含まれていると考えていただいてもいいと思っております。

それから、スクールカウンセラーにつきましては、今、提案でございますので、教育委員会のほうに伝えていきたいと思っております。

#### 【藤居委員】

ありがとうございました。

#### 【松下会長】

はい、竹内委員。

#### 【竹内委員】

本当にこれだけのものを短時間でまとめられた関係者の方々のご努力とご尽力に心から敬意を表します。大変ご苦労さまでございました。

何点か。1点目は、21世紀というのは、心の時代だし、感性の時代だし、私も随分主張させていただいて、この中にもいろいろな部分で載せていただきました。結局、人を育てるということの大きな中で、本物に触れ合うという教育というか、それが大事だということで、この中にも、14ページとか、18ページとか、60ページとか、73ページにも入れていただいて、本当に高く評価させていただきます。

また、1つ、例の子供読書推進法が国のほうででき上がって、読書運動というものをできれば人づくりの中でも、ほかのところでも、少しでも入れていただければなと思っています。

それと、正直言って、前回言わせていただきましたけれども、庶民感覚というか、区民の目線でこの長期計画基本構想を読んだときに、専門用語が多いということで、用語解説を入れていただいたので、か

なり読みやすくなったと思うんです。これも非常に高く評価させていただきます。

あと、私どもが主張させていただいたものは、平和という中にも、一節、平和意識の啓発ということで追加を入れていただきましたので、評価をさせていただきます。

その1点だけ、例の読書運動の推進というところなんですけれども、この辺はいかがですか。

#### 【松下会長】

はい、副主幹。

#### 【白井副主幹】

私どもも読書運動はとても大切だと事務局では思ったんです。ただ、ここで、基礎的学習とか基本的学習とか情操教育とか、国際理解教育とか、福祉健康教育とか言っていて、実は読書というのは、全部にかかわるのかなと思ひまして、あえて全部にかかわるとすると、読書運動というのがどう出したらいいかということだったので、それは、基本構想や基本計画でなく、もっと出すとしたら、実施計画をこれからつくりますので、そちらのほうで、具体的なものとして、気持ちがないのじゃないんですけれども、出したほうが、私、事務局としては、非常にはっきりと明確なのかなと思ひましたので、いろいろな教育に読書はかかわりますね。ですから、そういうような形から、ここでは、答申案としては触れていないということなので、気持ちとしては入っていないということではございません。全部にかかわっているという気持ちで、言葉としては出していないというようなことでございます。

#### 【松下会長】

はい、瀬端委員。

#### 【瀬端委員】

質問ということではないのですけれども、いろいろ皆さんから出された意見を、最後にいろいろな意見がまとめられていますし、それから、可能な限り、基本構想や基本計画の中に組み入れていただいたということについては、私も、そういうふうに、皆さんと同様に敬意を表したいと思ひます。

特に、私なんかは、環境対策やごみの受益者負担の問題なんか、具体的には、この計画や構想の中からは、省いていただいたというようなことや、あるいは都市農業の重要性などについて、税制面での支援が、農地を守る上でも非常に大事じゃないかということで、長期計画の中でも位置づけられていますので、そういう点はしっかりと明記されているなと感じました。

ただ、質問というか、言いたいことになると思うんですけれども、1つは、今度の基本構想とか長期計画の、何が重要で、どういう順番かということはないと思うんですけれども、ただ、子育て支援ということで、かなり、未来を担う人づくりのことが一番最初に打ち出されているわけなんですけれども、その中の保育行政といいますか、保育のあり方というか、例えば基本構想の13ページとか、基本計画の58ページあたり、そういうところに、保育について、基本構想や計画の中でどう位置づけていくのかということが明記されているわけなんですけれども、これを見ますと、多様な保育サービスを提供するというので、基本的な考え方が示されています。

ただ、意見としてですけれども、こういう分け方、0歳から2歳まで、あるいは3歳から5歳までという形で、家庭的保育の推進と集団的保育の推進というふうな分け方がされています。

ただ、実態としては、今、確かに区の考え方を理想として、0歳、2歳といったような乳幼児といいますか、一番年齢の低い子どもたちの保育のあり方として、こういうあり方が理想だというお考え方なんだと



は思うんですけれども、現実的には、0歳から2歳までの低年齢児の集団保育の要望も非常に強い今の現実の共働きの状況ですとか、女性の社会進出の状況ですとか、今後もこれは10年、20年の間により一層強まっていくのじゃないだろうかと思えるんですね。そういう点からいくと、多様な保育サービスの提供というのであれば、今、区が保育を区民に対して提供しているいろいろな資源の中で、一番大きな柱である公立の、区立の保育園での0歳児を含めた保育を担っていくとか、そういうことも非常に必要だろうし、0～2歳と、3～5歳というような分け方で、これが本当に妥当なのかなという感じもちょっとしました。または、考え方として、そういう考え方があるということはもちろんわかるわけですが、そういう保育のあり方といいますか、子育て支援の一番トップに持ってきている中での位置づけとして、多様な保育施策というのであれば、そういった公立保育園での問題とかということが大事じゃないかと考えます。

それから、58ページの、これは長期計画のほうですけれども、全体の時代の流れとか、いろいろな傾向の中で、保育園の民営化とか、民間活力の導入というような形で推進されているということがありまして、江戸川区もそういう方向を強めていくと思うんですけれども、特に、この中に、58ページの下のところですが、区立保育園の運営に企業やボランティア、NPOなどの参加を進めていきますということがありまして、ボランティアやNPOの方々も、いろいろな形で子育ての支援への参加というのは、私たち、大いに進めていただいて、可能な限り、お力をおかりしていくということが必要なことだろうと思っているんですけれども、民間の私立の保育園の方々もいらっしゃるしまして、公立保育園と私立の保育園とのいろいろな役割分担といいますか、仕分けの問題もあろうかと思うんですけれどもね。だから、区立保育園がこれまでに果たしてきた、江戸川区の保育行政の中で、企業にその運営を任せていくというか、そういう方向が本当にいいのだろうかという思いもありまして、まあ、保育行政の場合には、特に保育士の方々の人件費がかなり大きな比重を占めていますので、公的な責任を後退させないというか、そういう問題点もあるのではないかなと感じました。

それから、これは、前にも意見を言わせていただきましたけれども、まちづくりの部分で、江戸川区の直接の行政じゃないんですけれども、149ページに、長期計画の中で、国への要望の中で、区内交通網の機能効率を図るということで、3環状9放射という、関係機関に要請していくということがありました。外郭環状とか、首都高、中央環状とか、第2湾岸道路ですか、整備促進を要請していくということがあるわけですが、これは、国の財政状況とか、環境問題とか、いろいろな角度から見て、要請していくということが本当に必要なのだろうかという疑問が私は非常に強くありまして、この点については、意見を申し上げさせていただきましたが、要請していくという態度でいいのかということは、非常に強い疑問を持っています。

そういう意見も含めて、いろいろ表記していただいています、それぞれの委員の意見をまとめたのだいたということ、非常によかったんじゃないか。それから、可能なものを取り入れていただいたということについては、先ほど申しましたように、大変評価させていただきたいと思っています。

最後に、これはこの間も伺ったんですけれども、基本構想を区長に答申をするわけですが、20年間の基本構想や10年間の長期計画ということで、ある程度どこかで議決しなきゃならないとか、いろいろある、期限が決まったという限られたということはあると思うんですけれども、何らかの形でもうちょっと区民の皆さんにいろいろ意見をお示して、可能な限り、区民の皆さんの声を反映させるというか、そういう方法を考えていくようなことが必要なことじゃないかなということは考えておりますので、それは今からでは無理だというお話もちょっとありまして、いろいろこれまで、中学生や何かから声を聞いてきたということもありましたけれども、ただ、20年間の区民のいろいろな区民生活の土台になるものですので、可能な限り、インターネットなんかもありますから、区民の声をできる限り反映させる、あるいは区

民に、計画、構想を知らせていくという、そういうかわりを何らかの形で持てるようお願いしておきたいと思います。

長くなりました。

#### 【松下会長】

はい、北川委員。

#### 【北川委員】

内容については、皆さんから、各委員さんの意見を非常に細かく吟味しながら、表現を工夫して、入れていただいたということで、大変評価したいと思います。今、瀬端委員からもお話が最後のほうにあった、この段階で、また広く区民の意見を吸収するというのは非常に物理的に難しい。

44ページに、前回の基本計画の最後のところ、基本計画の位置づけだとか、これの実施計画とか、予算の話が出ました。いつお話ししようかなと思って、次回答申ということで、今回しかお話しチャンスがないのかなと思うんですが、要するに、今回の基本構想は、とにかく区民と一緒につくということで、単に江戸川区の行政だけが勝手に決めたわけではない。そのためにまさにこういうような審議会とか、ここまで時間をかけて意見を決めたということだと思うんですが、ただ、気持ちは十分我々も理解するんですけども、これを具体的に10年計画とか、基本計画、それも3年の実施計画、具体的に実施の問題は予算、これを完璧に区の行政の話になってしまうわけですね。

つまり、基本構想でいろいろ区民と一緒に出された意見を伺った基本構想が、一方、実施する側、行政として頑張る話は確かに基本計画以降のところにある。確かに基本計画も常に区民の人が目につくものだから、表現をまた工夫するという話がありましたけれども、でも、しょせん行政側の流れ、行政として責任を持つ計画であり、実施であり、予算になってくる。

区民の側から、基本計画がどのように実施されていくのか、また区民としての思いもあるでしょうし、反省もあるし、また新しい意見もある。今の瀬端委員の、基本構想自体の意見の話なんですけど、それはそれで、まあ、ここまで時間と皆さんのご意見を聞いたということで私は評価して、これで出発してもいいんじゃないかと思いますが、それ以降、せっかくの基本構想なり、そういうものが何らかの形で、このまとめたこれ自体をどうというわけではないんですが、今後の流れの中でどういうふうに表現できるか、答申の中で出てくるのかよくわかりませんが、そういうものを今後、区民の側がどのように受けとめ、どのように努力されて、どのような評価をされながら、また新しいものを積み上げていくか。要するに、区民の側にとっての基本計画、区民の側にとっての実施計画、区民の側にとっての1年ごとのチェックみたいなもの、そんなものが途中経過でこういうような形での審議会というか、何というか、そんなものもあってもいいのかもしれないし、常に区民の側から見た計画とか、どんなふうにとらえていますか、ご意見はどうですかみたいなことを、時と時代にあわせながら、この20年の中でやりとりをしていくような、そんな場面かと、そんなものがせっかくいいものができたわけですから、そこでせっかくの基本構想は、今回は違うよといったものが、後は結局、今までどおりの基本計画であり、実施計画であり、予算という行政側の協議になってしまう、その辺がちょっと今回こそ必要だなというふうに思ったんですが、どういうふうに受けとめていられるか、できたら、何らかのことを、どんな形でか、今後の問題として、こうしますは無理であっても、何か表現するなり必要になるのではないかなと。せっかくいい基本構想を、ちょっとそういうふうに思うんですけども、どうでしょうか。

#### 【松下会長】

はい、経営企画部長。

### 【山崎経営企画部長】

この構想、それからこの基本計画そのものが、白井課長のほうからも何度も申し上げているとおり、今までの計画はあくまでも昭和40年、50年、60年と3回つくったわけですがけれども、これは基本的に行政が何をやるかという。この中で基本的に出ているのは、この最大の違いは、住民とともに、この計画は、住民とともにやらないとできない計画です。

というのは、この中にもございますけれども、ハードはほとんどございません。一緒にやっていくということ。ですから、これはこれとして、私どもこの構想は6月に私ども、予定としては議案として出させてもらいますし、議案ができた段階でここに書いてあること、ほぼこのままになろうかと思いますが、もっと見やすい形での基本計画というものを出版させていただいて、区民に公表していきます。

ただ、それ実施するに当たって、各6分野については、当然、住民の方によくお知らせをして、住民とともにできるようなことを、6分野やり方は違うと思いますが、そういう形でしていく。

それから、もう一つは、ここにまだ具体的に出来ていないんですけれども、行政評価という仕組み、これも国からやれというふうにも言われていますし、これをどういうふうな形で工夫していくか、それから、今でも長期計画につきましては、達成状況というのを一応あまり区民にまで広くPRを一生懸命しているということはありませんけど、一応長期計画の達成状況ということは今でもやっているところでございますけれども、その辺のどういう形でどういうものをしていくか、それをわかりやすい形で住民に伝えるということは、なかなか難しい面がありまして、まだ行政評価、1年ちょっと、今、勉強しているんですが、そういうものも含めて、基本的な長期計画の成り立ちがそういうことですから、そうやらなければこれは達成できません。今までのように国や都や、それから区のお金で住民の方に理解を求めながら橋をつくったり区画整理をしたり、道路をつくったりというのは違うということで、そういうことは基本的に、今、北川委員さんから言われたとおり、どうしたらいいのかよく考えてはいきますけれども、幾つかの行政評価みたいなものもございますし、それをやっていかなければこれは進んでいけないというふうに私どもも理解をしていますので、その辺、もうちょっとよく考えさせていただいて、わかりやすくしていくことを区民とともに進めていきたいというふうに思っております。

### 【松下会長】

はい、北川委員。

### 【北川委員】

結構だと思います。ただ、私が言いたかったのは、基本構想が今までとは違って、むしろ行政の評価とかいうことだけにはとどまらない、かなり広範になるのですね、区民も一緒にという雰囲気が色濃くいい意味で出ているだけに、行政だけが評価されるのではなくて、それも一応区民の目から評価される、それだけではなくて、区民が頑張って、私たちの江戸川区をつくり上げたということが、区民同士、お互いに確認し合うようなやっぱスケジュールもあっていいのではないかと。せっかくの基本構想を自分たちのものにするためにね。そのような思いでお話しさせていただいたので、工夫できるところはよろしくお願いしたい。

### 【松下会長】

はい、小泉委員。



## 【小泉委員】

ご苦労さまでした。大変立派な基本計画案が立ち上がりました。改めて大変なご苦労に経緯を表したいと思います。

基本的に私は、この区民とともにという、これからの将来の基本構想を実現していくために、今まさに区と区民が一体となって、この将来像を実現するために、これから、その基本計画に基づいて実施計画がつくれ、そして実施計画に基づいて、それぞれの施策が展開されていく、こういうような形になると思います。

そういうような観点から、いろいろな考え方があると思いますが、私は基本的には、本当に6項目を分けて、子育てだとか、教育・文化だとか、健康都市だとかいろいろな姿勢が打ち出されておりまして、この基本姿勢について本当に心から賛意を表しております。

ぜひ、そういうような中で、これからの実施計画が具体的につくられる中で、まさに今、副主幹のほうからお話がありましたように、区民とともにこの将来構想を実現していくために、区民に、より理解を深めていただくということは当然なことなんですけれども、ぜひご努力をいただきたい、こういうふうに思います。

1つだけ、別にこれについてそのとおりだと思うんですが、8ページにあります将来都市像と基本目標という中で、将来の都市像といいますが、具体的に創造性豊かな文化をはぐくむ、水辺と緑かがやく、安心と活力ある、生きる喜びを実現できる、すべて網羅したことですが、かつては、例えば豊かな心、地に緑とか、そういうのを私は区民がパッと将来像を想像できるスローガンというのがあったんですが、何かそういうような1つの旗を、短い文章ではなかなか難しいかもしれないですけれども、これから具体的に進めていく上でそんなことがあったらいいなと。そんなふうに感じました。

以上です。どうぞよろしくお願いします。

## 【松下会長】

ほかにございませんか。よろしいですか。

## 【白井副主幹】

ありがとうございます。実はこれは私ども事務局は仕事としておりまして、これを皆さんにお配りした後、またよく読んだりしているわけでございます。ちょっと3点ほど、もしできましたら、よりよくしたいものですので、お話をさせていただいて、よければそうさせていただきたいというところがございます。

1つは、まずこの中にグローバル化という言葉が31にわたって出てまいります。9月のテロ以来、グローバルというのが、ある意味ではアメリカのスタンダードではないかというような論評もちょっと生まれておりまして、私どもはそうではなくて、全く地球規模での交流というようなことで、ここでグローバルというのを、これを出したのは7月でございますので、皆さんに見ていただいておりますけれども、その後そのような事件があったりしますので、できましたら、そのグローバルというのを、今、言いましたような形で、誤解をされないように、それをちょっと日本語にさせていただいたらありがたいというのが1点でございます。

もう1点は、親の教育ということで、今まで家庭教育(親の教育)と言ってまいりましたが、これは区民の方と一緒にやるわけなんですけれども、出るときは江戸川区としての計画として出ますので、そういう意味では、ちょっと親を教育するというのは僭越かなというようなところもございまして、家庭教育の充実というふうにさせていただければありがたいなと思っております。

それから、もう1点は、名前を言ってあれなんですけれども、藤居委員さんからもいろいろあったんですけれども、この協働というのをよりわかりやすくするということでは、最後の章の第3章の162ページなんですけど、ここを今、横断的取り組みというのが第1節になっております。第2節が区政運営と、区がこういう電子区役所を実現します。第3節が信頼と共同となっております、逆に区民の方と、この基本計画というのは、今、北川委員からもお話がありましたけれども、信頼と協働というのが前提となるわけでございますので、これを第3章の第1節にまず持ってきて、信頼と協働でこれはやりますと。区役所はこういうことをしていったって、取り組みとして、それは区としては横断的に、行政内部は取り組んでいかななくてはできませんというような形にちょっと変えさせていただいたら、私どもはもっと早くそういう提案をすればよかったのですが、よりいいものになるかなと思ひまして、これは中身が変わるわけではございませんので、もしできたらそういうことで、会長、ちょっと皆さんに諮っていただければと思うんですけれども。

#### 【松下会長】

今の副主幹のお話、何点かありましたけれども、これは中身を変えるわけではないので、やはりわかりやすく、よりはっきりとした形で見えますので、その辺のところはよろしいですね。

はい、須賀委員。

#### 【須賀委員】

話が出ましたので、ちょっと私、お聞きしたいのですが、59ページに、今もう既に男女共同参画社会の基本法も出ている中で、あえて男女を問わずという言葉ななぜ入れるのか、ちょっと私は考えました。私の考えでは違うのではないかなと思うんですが。

#### 【白井副主幹】

そうなんです。これ、実際は、保育士は女性が多いんですね。それで、これを入れないと、どうしても女性がそのまま、多いのはいいんですけれども、男性をもっと増やしたいので、本当はもっと長く男女を問わずというよりも、男性を増やしか何とかということだと思うんですが、そうすると、今度女性側から見て、どうなんだろうという議論があるので、男女を問わずとあえて両方、男性も増えてくださいということを言いたくて、入れさせていただいたところで、まあ、言葉がいいのかなというのは、確かに今、委員がおっしゃったとおりで、性別問わずとか、性別にとらわれずとか、いろんなことを考えたんですが、今、これにちょっと落ちついていてところで、本意は男性の方も、今、保育園なんかは女性が多くて、母子家庭化していますので、男性の方もどんどん出ていっていただきたいというのが、その気持ちなんです。それでちょっとここに入れたということなんですけれども、いかがでございましょうか。

#### 【須賀委員】

結構です。

#### 【松下会長】

ほかにございませんね。

それでは、基本的には、若干先ほどの副主幹の話もちょっとありますけれども、若干いじることはありますけれども、基本的にはこれが基本で答申案というものを作成させていただきます。そういうようなことを踏まえて、事務局のほうで取りまとめてよろしいですね。

(「異議なし」の声あり)

【松下会長】

じゃ、そのようにさせていただきます。

それでは、次回は3月22日になりますけれども、長期計画に関する答申を区長に提出することになります。これにつきまして、事務局のほうから。

【白井副主幹】

それでは、次回3月22日、1時半でございますが、この案を綴じまして、製本いたしまして、線も取りまして、本といたしまして、審議会から、会長が代表として区長に答申していただこうと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

答申は、すぐに終わってしまうと思うんですけれども、その後、今までこのエビアンという水だけで誠に申しわけなかったんですが、紅茶とケーキだけを用意させていただきまして、皆さんと区長との懇談を持ちたいと思いますので、どうぞ何なりとお話をいただければと思っております。よろしくお願いいたします。

【松下会長】

最後の答申を区長に手渡すことになりますので、ひとつ委員さんもお忙しいと思いますけれども、最後はなるべく全員参加して答申を区長に提案させていただけたらと思いますので、ひとつよろしくお願いいたします。

それでは、本日の審議はこれもちまして閉会といたします。どうもありがとうございました。

了